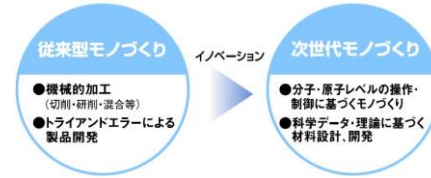


# 愛知県が取り組む「知の拠点づくり」

## 「知の拠点」とは

愛知県では、次世代モノづくり技術の創造・発信の拠点となる「知の拠点づくり」を進めています。

〈所在地〉 愛・地球博 長久手会場（東ターミナル）跡地  
（瀬戸市南山口町、上之山町、豊田市八草町）



## 拠点の形成イメージ

1. まず愛知県が産・学・行政の連携による共同研究開発の場「先導的中核施設」と機会を提供
2. そこでの取り組みを呼び水として、研究開発機能をより高度化・広域化するため、先端研究・実験施設やインキュベーション施設等を立地、集積化
3. 愛知だけでなく中部地域をあげた研究開発の拠点づくりを目指します

### 先導的中核施設の整備

愛知県が呼び水となる施設を整備

【供用開始：  
平成22年度目途】

### 段階的整備

拠点機能を高める施設（組織）を誘導・整備

- シンクロトロン光利用施設  
【供用開始：平成23年度目途】  
（他の候補例）
- インキュベーション施設
- 先端実験・研究施設（組織）

### 拠点の形成

拠点の一定の形成  
【平成27年度目途】

## 先導的中核施設の機能

### ① 研究開発機能

研究シーズを事業化、製品化につなげる橋渡し



### ② 研究成果の活用支援機能

### ③ 高度計測分析・評価機能

高度で汎用的な計測分析・評価機器と専属のオペレーター、コーディネーターを配置。

隣接するシンクロトロン光利用施設とともに、状況に応じて計測分析・評価機器を使用できるため、効果的・効率的なサービスの提供が可能。

### ④ 科学技術の普及啓発

### ⑤ 技術人材の育成



（施設イメージ図）

